

D.WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

平成27年12月期

# 第2四半期決算説明資料

D. Western Therapeutics Institute

平成27年8月12日

株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

<http://www.dwti.co.jp>

**JASDAQ**

証券コード：4576

# 目次

1. 平成27年12月期 第2四半期業績
2. 平成27年12月期 トピックス
3. 成長シナリオ

# 1. 平成27年12月期 第2四半期業績

平成27年1月1日～平成27年6月30日

# 損益計算書概要

## 【売上高】

- グラナテック®点眼液0.4%の国内販売によるロイヤリティ収入等27百万円

## 【研究開発費】

- 眼科用鎮痛剤の導入契約一時金の支払い等により、前年同期比+33百万円増加の80百万円

## 【その他一般管理費】

- 学会参加や人件費増加等により、前年同期比+6百万円の101百万円

単位：百万円

	平成26年12月期 第2四半期	平成27年12月期 第2四半期	増減
売上高	—	27	27
売上原価	—	—	—
売上総利益	—	27	27
販売費及び一般管理費	141	181	39
研究開発費	47	80	33
その他一般管理費	94	101	6
営業損失	▲ 141	▲ 154	▲ 12
経常損失	▲ 139	▲ 153	▲ 14
当期純損失	▲ 140	▲ 154	▲ 14

# 貸借対照表概要

【流動資産】販売費及び一般管理費の支出により、現金及び預金は前期末比▲192百万円

ロイヤリティ収入による売掛金や有価証券の増加等により、その他流動資産は前期末比+51百万円

【純資産】当期純損失154百万円、有償ストック・オプション発行による新株予約権3百万円の計上等により、前期末比▲151百万円

単位：百万円

	平成26年12月末	平成27年6月末	構成比(%)	増減
流動資産	2,108	1,967	99.2%	▲ 140
現金及び預金	1,447	1,255	63.3%	▲ 192
その他	661	712	35.9%	51
固定資産	27	15	0.8%	▲ 11
資産合計	2,135	1,983	100.0%	▲ 152
流動負債	19	17	0.9%	▲ 1
負債合計	19	17	0.9%	▲ 1
株主資本合計	2,116	1,961	98.9%	▲ 154
資本金	2,366	2,366	119.3%	0
資本剰余金	2,356	2,356	118.8%	0
利益剰余金	▲ 2,607	▲ 2,761	▲ 139.3%	▲ 154
新株予約権	—	3	0.2%	3
純資産合計	2,116	1,965	99.1%	▲ 151
負債純資産合計	2,135	1,983	100.0%	▲ 152

# キャッシュフロー計算書概要

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 税引前当期純損失153百万円等

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- 定期預金の払戻による収入300百万円等

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- 新株予約権(有償ストック・オプション)の発行による収入1百万円

単位:百万円

	平成26年12月期 第2四半期	平成27年12月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 157	▲ 189	▲ 31
投資活動によるキャッシュ・フロー	288	295	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	1	▲ 21
現金及び現金同等物の増減額	154	107	▲ 46
現金及び現金同等物の期首残高	1,067	1,167	100
現金及び現金同等物の期末残高	1,222	1,275	53

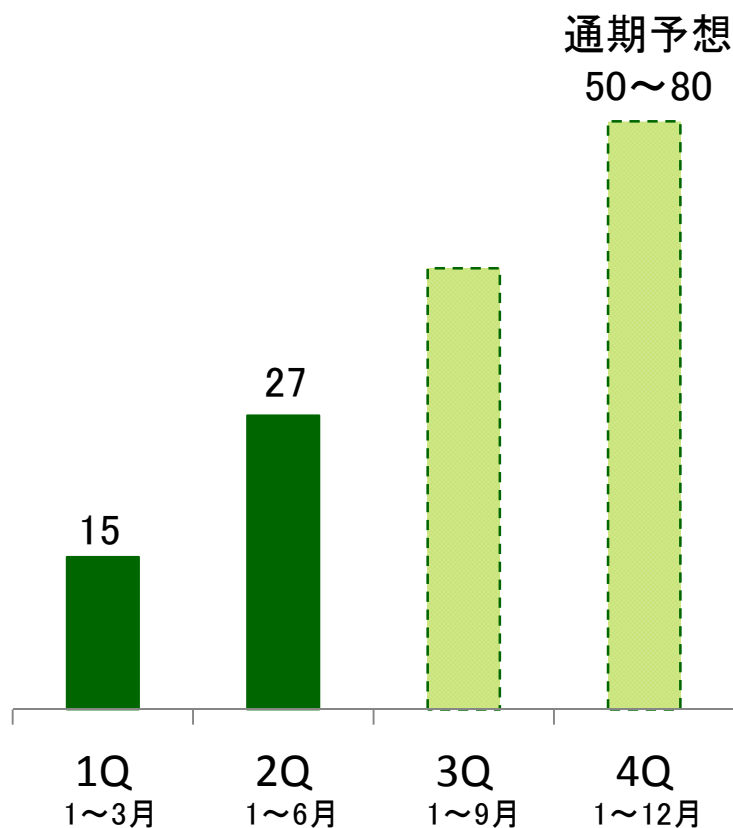
※貸借対照表に記載の「現金及び預金」に「有価証券」を加えた手元流動性は、  
**1,887百万円**となります。

## 2. 平成27年12月期 トピックス

# トピックス① 緑内障治療剤グラナテックの売上動向

## 平成27年当社ロイヤリティ収入

(単位:百万円)



平成26年12月、緑内障治療剤グラナテック®  
点眼液0.4%の国内販売開始

### 【特徴】

Rhoキナーゼ阻害作用を有する、世界初の緑内障治療剤。線維柱帯-シュレム管経路で房水流出を促進させる。

### <第1四半期>

- 平成26年12月分のロイヤリティ収入含む。

### <第2四半期>

- 返品少なく、順調に推移。

販売元の興和株式会社の売上高は順調に推移。今後も拡大していく見込み。



## トピックス② 緑内障治療剤 H-1337学会発表

眼科分野において世界最大規模の学会、ARVO※のポスターセッションで発表

※The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2015(5月3日～7日、米国開催)

米国、日本等では特許取得済み。

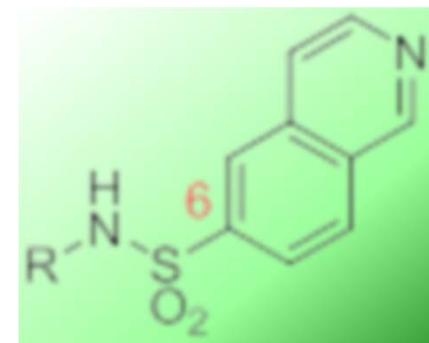
### 【主な発表内容】

- 1) H-1337の長時間持続する眼圧下降作用
- 2) H-1337のメカニズム解明



HotTopic  
選出

- 3) H-1337の滲出型加齢黄斑変性症に対する治療効果  
(三重大学と共同発表)



緑内障治療剤として、非臨床試験に向けた準備を進めている。

# トピックス③ 眼科用鎮痛剤の導入 ～当社初の他社からの導入品～

## 6/2 再実施許諾権付独占的開発権・製造権・販売権を取得する契約を締結

導入品	眼科用疼痛治療剤
導入元	英国企業
許諾地域	日本
許諾領域	眼科領域における局所的使用
契約期間	契約締結日から製品販売後10年、もしくは全ての特許満了のいずれか遅い時点まで
その他	・欧米の権利は、第三者ライセンスが取得済 ・実施権の対価として、フロントマネー、マイルストーン等を支払う ・製品の上市後、純売上高の一定料率をロイヤリティとして支払う

### 【開発品の特徴】

- 市販既存薬の新規眼科への適応のため開発リスクが低い

### 【今後の方針】

- 製剤化検討および原薬供給先の選定
- 開発の進展と並行して国内でのパートナーを探す

# 開発品の進捗状況

平成27年6月末日現在

対象疾患	開発品	平成26年	平成27年	ライセンス アウト先	権利	開発段階
緑内障・ 高眼圧症	グラナテック ®点眼液0.4%	→→→ 申請 承認 販売		興和(株)	全世界	平成26年12月 国内販売開始
	H-1129 (WP-1303)	→ 非臨床試験		わかもと 製薬(株)	日本	平成25年12月 非臨床試験開始
	H-1337	→ 基礎研究		—	—	化合物最適化 完了
※興和にて 検討中	K-134	→ 閉塞性動脈硬化症にて、 後期第Ⅱ相臨床試験終了		興和(株)	全世界	—
眼科用疼痛治療剤			★ 導入	—	(当社権利) 日本	—
眼科関連、神経系 循環器系、呼吸器系等		→ 基礎研究				

# 3. 成長シナリオ

# 中期業績目標

(平成27年2月12日開示)

単位:百万円

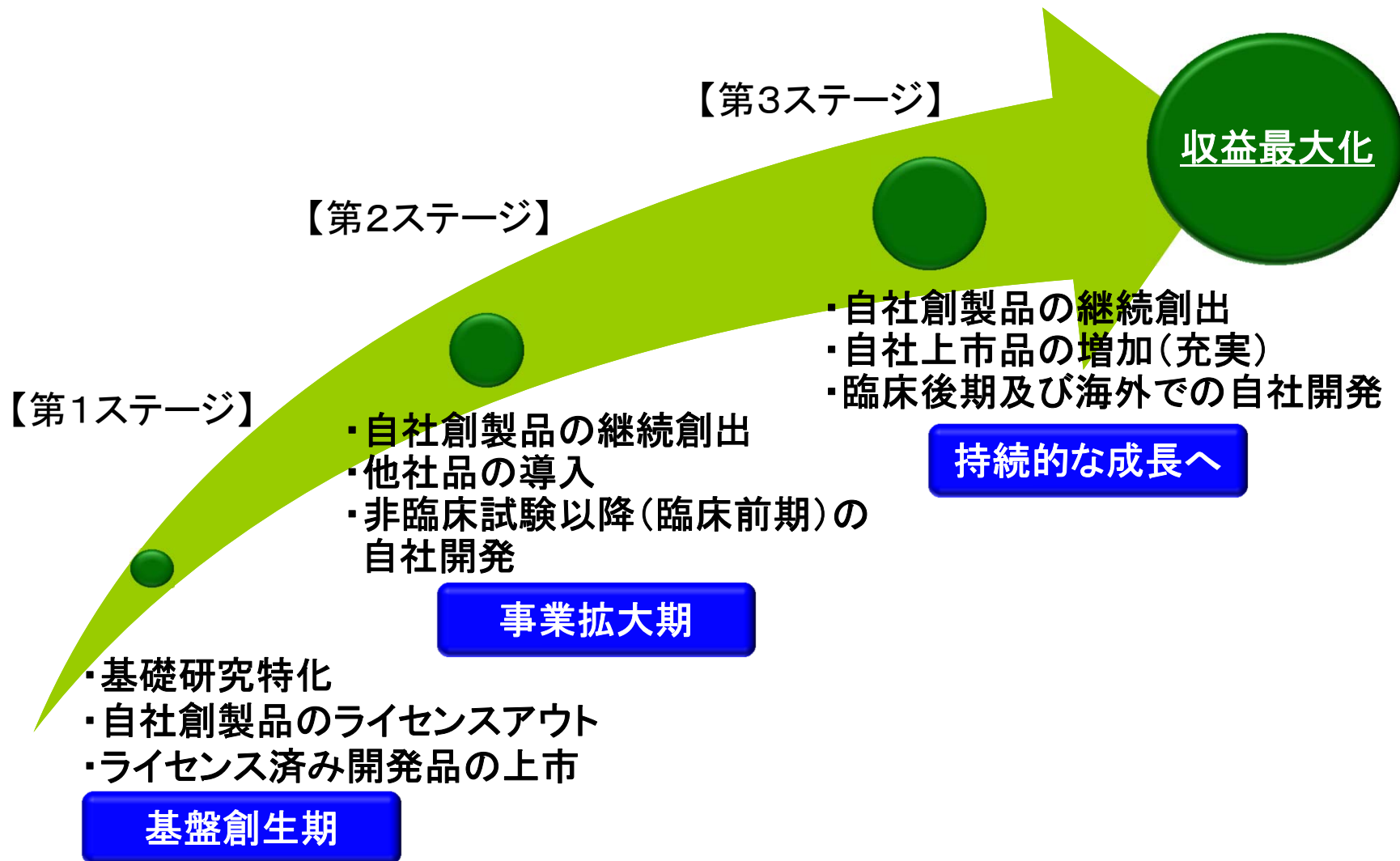
	平成26年12月期 実績	平成27年12月期 予想	平成28年12月期 目標	平成29年12月期 目標
売上高	80	50～80	150～250	200～350
営業損失	▲ 196	▲249～▲219	▲153～▲53	▲103～46
経常損失	▲ 191	▲246～▲216	▲150～▲50	▲102～47
当期純損失	▲ 192	▲247～▲217	▲151～▲51	▲103～42
販売費及び一般管理費	276	299	303	303
内 研究開発費	96	109	112	113

※当事業年度よりロイヤリティ収入を見込んでおりますが、特定の数値による予想は困難であることから売上高数値はレンジ形式による計上としております。

## 開発パイプライン

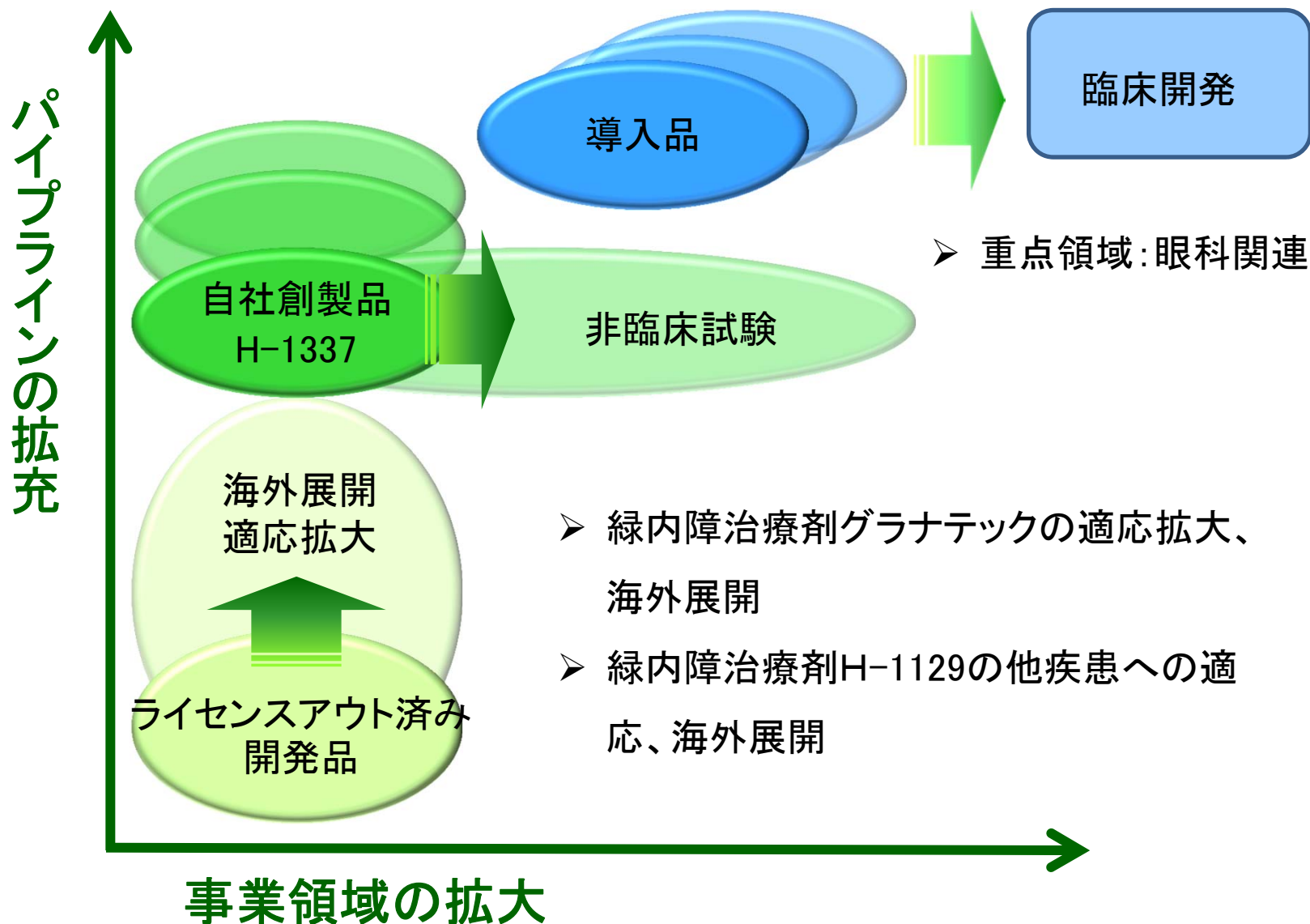
グラナテック®点眼液0.4%	承認	上市	販売
K-134	フェーズ II b		
H-1129(WP-1303)	非臨床試験	フェーズ I	フェーズ II

# 成長戦略



継続した投資により事業拡大を推進、着実な収益拡大へ

# 収益最大化に向けた具体的な取組み





# 「日本発の画期的な新薬を世界へ」

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所  
D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE



- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

<http://www.dwti.co.jp> tel:052-218-8785